

※ 外部意見の反映

幕別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の報告書に対する主な意見

本報告書を作成するにあたり、点検及び評価の客観性を確保する観点から、知見の活用として町長部局の部長職等から聴取した主な意見は次のとおりである。

	ご意見	意見に対する町教委の考え方
1	《「第2章 第6期幕別町総合計画の基本計画に基づく評価」について》 町の人口減が進む中、公民館や町民会館、ふるさと館、ナウマン象記念館、集団研修施設こまはた、百年記念ホールなどの各種教育施設について、利用頻度や必要性等から再編統合を検討する時期に来ているのではないかと思います。	ご指摘のあった教育施設に限らず、町の公共施設全体の在り方について、今後の利用頻度や必要性等を総合的に勘案して再編統合等について検討してまいります。
2	小・中学校の児童生徒数の減少に伴う小規模化が進む中、学校毎のスケートリンク造成やプール設置は統合集約してスクールバス輸送にすべきと思います。	今後の児童生徒数の将来推計を把握した上で、スケートリンク造成やプール設置の在り方について検討してまいります。
3	小・中学校のスポーツ振興に関わって、各種事業実施、施設整備維持、補助金の支出等充実した施策が実施されていると思います。今後の方向性として、各小・中学校で行われている少年団活動や部活動をどうするか、義務教育学校も含めて具体化する時期に来ているのではないかと思います。	部活動の地域展開については、今後も「幕別町部活動地域移行検討委員会」を中心に議論を重ね、少年団活動も含めて、在り方について検討してまいります。
4	《その他》 事務の点検及び評価として、学識経験を有する者の知見を活用することになります。が、学識経験を有する者への意見の徴取は、政策的事業に絞ってはどうか。	意見聴取の方法等については、町で実施している事務事業評価委員会の実施内容を踏まえ研究してまいります。